

## 平成 23・24・25 年度実証運行結果の報告（2 年間の実績）

（運行開始から平成 25 年 9 月までの状況）

### 1. 乗車人員及び運賃収入状況

#### ●門前線

1 日あたり乗車人員 120 人（期間内総数 57,491 人）

1 日あたり運賃収入 16,885 円

#### ●西畑線・萩原（有里）線

1 日あたり乗車人員 24 人（期間内総数 11,428 人）

1 日あたり運賃収入 4,411 円

### 2. 期間内の収支

#### ●門前線

運賃等収入 8,129 千円/経常経費 12,186 千円=66.7%

よって、市負担割合は 33.3%となる。

#### ●西畑線・萩原（有里）線

運賃等収入 6,714 千円/経常経費 11,968 千円=56.1%

よって、市の負担割合は、43.9%となる。

（国庫補助金 4,580 千円を収入して）

### 3. ご利用の状況

#### ●門前線

利用が増加しており、1 日平均約 120 人のご利用があった。（運行開始後 1 年間の 1 日平均は 106 人）

生駒駅（セイセイビルを含む）からの乗車人員と他の停留所の乗車人員の比率は、70 : 30 となっている。（帰りのご利用が多い）

各便まんべんなくご乗車いただいている。

運賃収入における、現金と回数券との比率は、40 : 60 となっている。（継続的なご利用が多い）

高齢者だけではなく、買い物、通勤の利用もある。

満席により、乗車いただけなかった例が増えてきている。（12 便（生駒駅 15:40 発）、14 便（生駒駅 16:45 発）、15 便（生駒駅 17:15 発）など。ほとんどが生駒駅。）

#### ●西畑線・萩原（有里）線

平成 25 年度に入ってからご利用が特に増加しており、1 日平均約 24 人のご利用があった。

(運行開始後1年間の1日平均は21人)

せせらぎ～南生駒駅間からの乗車人員と他の停留所からの乗車人員の比率は、53:47となっている。(やや、行きのご利用が増えている。)

西畑線1便(暗峠7:25発)、4便(暗峠12:00発)、6便(暗峠15:25発)のご利用が少ない

(平成25年度の1日あたり1.7人、1.5人、1.3人。他便の平均は3.8人)

経路を変更後、有里線の利用は増加傾向にあるが、1便(せせらぎ8:29発)のご利用が少ない

(1日あたり1.8人 他便の平均は3.6人)

高齢者だけではなく、通学利用もある。また、ハイキング等観光利用の例もある。運賃収入における、現金と回数券との比率は、51:49となっている。

(観光等随時の利用が門前線に比べ多いが、継続的な利用も増えてきている。)

満席により、乗車いただけなかった例は数件である。

#### 4. 利用促進に向けた取組

- ・自治会による集会等でのご利用の継続的な呼びかけ
- ・市ホームページに時刻表や路線図を掲載
- ・広報いこま、市ホームページへの掲載(利用状況、収支の見込 他)
- ・車内や公共施設等での時刻表の配布
- ・広告入り時刻表の作成・配布
- ・別途チラシ及び回数券の配布、掲示板に利用促進チラシの掲示  
(青山台自治会で実施)
- ・門前線運行計画の変更(1便増便、2停留所増設)
- ・南地区運行計画の変更(運行経路の見直し)
- ・南地区での沿線店舗サービス券の配布